

申請年月日 平成 年 月 日

動物実験計画申請書 (H25)

金沢医科大学長 殿

講座名 _____

講座主任 _____ ㊟

金沢医科大学動物実験指針第5条第1項の規定に基づき、下記の計画による動物実験の承認を申請いたします。

研究課題名					研究用 教育用	
動物実験責任者	氏名・Email		講座等名	職名等	教育訓練	経験年数
	氏名 ㊟	E-mail:	TEL:		有 無	年
動物実験実施者 (施設に立ち入る 全ての者を記載)	氏名	E-mail:	TEL:		有 無	年
	氏名	E-mail:	TEL:		有 無	年
	氏名	E-mail:	TEL:		有 無	年
	氏名	E-mail:	TEL:		有 無	年

使用動物 (遺伝子改変動物の 系統名は対象遺伝子 が分かるように記載 する。欄が不足する際 は、別紙を添付してく ださい。)	遺伝子改変	動物種	系統名	性別	総数	1回あたりの 搬入数	入手先
	有 無						
	有 無						
	有 無						
	有 無						
	有 無						
	有 無						
	有 無						
	有 無						
	有 無						

特殊実験区分 (該当項目すべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 遺伝子組換え動物実験 区分 <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A	承認期間 _____ ~ _____
	<input type="checkbox"/> 申請中である	
	<input type="checkbox"/> 2. 感染実験 (使用微生物 : _____)	
	<input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験 (承認期間 _____ ~ _____ <input type="checkbox"/> 放射線使用申請中)	
	<input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属等実験 (化学物質名 : _____)	

飼養保管施設	実験室
--------	-----

施設外への持ち出し	<input type="checkbox"/> 24時間以内で持ち出す。	<input type="checkbox"/> 動物実験室設置を申請済み
-----------	---------------------------------------	---------------------------------------

実験期間 (飼育期間)	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (動物搬入 年 月 日 ~ 年 月 日)
----------------	---

実験目的	(目的・意義・予想される成果を簡潔に記載する。)
------	--------------------------

[ここに入力]

施設内で繁殖を行う予定である。(該当する場合は■とし、次欄に理由と方法を記載する。)

(理由と方法)

実験方法
(飼育条件)

(具体的かつ簡潔に記載する。記載しきれない場合は「別紙の通り」と記し、追加資料を添付。)

動物実験を必要とする理由

1. 代替手段がない 2. 代替手段の精度が不十分

3. その他 ()

実験動物の苦痛の程度

A B C D E

実験動物の苦痛軽減、排除の方法 (該当項目すべて■)

1. 短時間の保定・拘束および注射等で、特に処置を講ずる必要はない。

2. 長時間の保定・拘束が避けられない。(その理由:)

3. 科学上の理由を損なわない苦痛軽減方法は存在しない(その理由:)

4. 麻酔薬・鎮痛薬を使用する。(使用する薬品名、投与量、投与経路を下に記載)

5. 人道的エンドポイントを設定する。(設定の内容を下に記載)

実験終了時の安楽死の方法 (該当項目すべて■)

1. 麻酔薬などの投与 (使用する薬品名、投与量、投与経路を下に記載)

2. 炭酸ガス吸入 (その他の不活性ガス)

3. その他とその理由 ()

動物実験委員会使用欄

承認番号:

倫理基準による医学生物学実験法に関する分類

カテゴリー	処置例および対処法
カテゴリーA 生物個体を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験	生化学的、植物学的研究、細菌学的研究、微生物学的研究、無脊椎動物を用いた研究、組織培養、剖検により得られた組織を用いた研究、屠場から得られた組織を用いた研究。発育鶏卵を用いた研究。 無脊椎動物も神経系を持っており、刺激に反応する。従って無脊椎動物も人道的に扱われなければならない。
カテゴリーB 脊椎動物を用いた研究で、動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作	実験の目的のために動物をつかんで保定すること。あまり有害でない物質を注射したり、あるいは採血したりするような簡単な処置。動物の体を検査すること。深麻酔により意識を回復することのない動物を用いた実験。短時間(2～3時間)の絶食絶水。急速に意識を消失させる標準的な安楽死法。例えば、大量の麻酔薬の投与や軽く麻酔をかけるなどして鎮静させた動物を断首することなど。
カテゴリーC 脊椎動物を用いた実験で、動物に対して軽微なストレスあるいは痛み(短時間持続する痛み)を伴う実験。	麻酔下で血管を露出させ、カテーテルを長時間挿入すること。行動学的実験において、意識ある動物に対して短時間ストレスを伴う保定(拘束)を行うこと。フロイントのアジュバントを用いた免疫。苦痛を伴うが、それから逃れられる刺激。麻酔下における外科的処置で、処置後も多少の不快感を伴うもの。 カテゴリーC の処置は、ストレスや痛みの程度、持続時間によっていろいろな配慮が必要になる。
カテゴリーD 脊椎動物を用いた実験で、避けることのできない重度のストレスや痛みを伴う実験。	行動学的実験において故意にストレスを加えること。麻酔下における外科的処置で、処置後に著しい不快感を伴うもの。苦痛を伴う解剖学的あるいは生理学的処置。苦痛を伴う刺激を与える実験で、動物がその刺激から逃れられない場合。長時間(数時間あるいはそれ以上)にわたって動物の身体を保定(拘束)すること。母親を処分して不適切な代理の親を与えること。攻撃的な行動をとらせ、自分自身あるいは同種他個体を損傷させること。麻酔薬を使用しないで痛みを与えること。例えば、毒性試験において、動物が耐えることのできる最大の痛みに近い痛みを与えること。つまり動物が激しい苦悶の表情を示す場合。放射線障害をひきおこすこと。 ある種の注射、ストレスやショックの研究など。カテゴリーD に属する実験を行う場合には、 研究者は、動物に対する苦痛を最小限のものにするために、あるいは苦痛を排除するために、別の方法がないか検討する責任がある。
カテゴリーE 麻酔していない意識のある動物を用いて、動物が耐えることのできる最大の痛み、あるいはそれ以上の痛みを与えるような処置。	手術する際に麻酔薬を使わず、単に動物を動かなくすることを目的として筋弛緩薬あるいは麻痺性薬剤、例えばサクシニルコリンあるいはその他のクラーレ様作用を持つ薬剤を使うこと。麻酔していない動物に重度の火傷や外傷をひきおこすこと。精神病のような行動をおこさせること。家庭用の電子レンジあるいはストリキニーネを用いて殺すこと。避けることのできない重度のストレスを与えること。ストレスを与えて殺すこと。 カテゴリーE の実験は、それによって得られる結果が重要なものであっても、決して行ってはならない。カテゴリーE に属する大部分の処置は、国の法律によって禁止されており、したがって、これを行った場合は、国からの研究費は没収され、そして(または)その研究施設の農務省への登録は取り消されることがある。

動物実験報告書 (H25)

金沢医科大学長 殿

講座名 _____

講座主任 _____

⑤

金沢医科大学動物実験指針第6条第3項の規定に基づき、動物実験報告書を提出いたします。

研究課題名					
承認番号					
動物実験責任者	氏名・Email		教室等名・電話番号		職名等
	氏名 E-mail:	⑤			
実験実施期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日				
実験動物使用状況	動物種 (系統名は省略)	遺伝子改変	使用数 (匹)		
		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	計画書に記載した総数		
			実際に使用した総数 (繁殖中に殺処分した数を含む)		
	動物種 (系統名は省略)	遺伝子改変	使用数 (匹)		
		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	計画書に記載した総数		
			実際に使用した総数 (繁殖中に殺処分した数を含む)		
実施状況等	<input type="checkbox"/> 実験計画は次年度も継続する。 <input type="checkbox"/> 実験計画は終了した。				
計画変更の概要	<input type="checkbox"/> 計画に変更はなかった。(変更があった場合は下欄も記入)				
	<input type="checkbox"/> 計画を中止・中断した。(理由: _____)				
	<input type="checkbox"/> 実験動物使用数を変更した。(理由: _____)				
	<input type="checkbox"/> 実験実施者等を変更した。				
		氏名	所属	職名	変更理由
	追加				
	削除				
<input type="checkbox"/> 実験方法を変更した。(変更の概要と理由を記載)					
実験成果等の報告	1.学会発表等 (_____)				
	2.論文等 (_____)				
	3.学生実習等 (_____)				

[ここに入力]